

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 聖徳園	代表者	三上 美知恵	法人・ 事業所 の特徴	敷地内には同法人が運営するグループホーム、こども園、母子生活支援施設、児童家庭支援センターがある。それぞれの事業所を利用している子どもや保護者と日常的に交流を行っており、利用者の楽しみや生きがいとなっている。施設では猫1匹飼っており、利用者の癒しになっている。
事業所名	あわら聖徳園	管理者	前川 典雅		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	3人	1	人	4人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 本人や家族の思いを深く理解し、目標を明確具体化できるようにする。 以前の暮らし方など、24時間シートについて勉強会を強化するなど、職員全員がその使い方を理解し、利用者にとって何が一番なのかを確実に見える化できるようにしていく。 利用者個々人が何のためにサービスが必要なのかを職員間で情報共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有については、十分にミーティング等を通じて把握できているが、以前の暮らし方をすべて把握するには、個人の思いもあり、難しかった。 暮らしのサポートマップをあまり見直せていないが、地域の方とコミュニケーションをとって利用者が暮らしていけるように対応できている。 ニーズに合った支援をどんどん提案している。 地域のいきいきサロンの継続、地域活動やイベントについては、コロナの影響はあるものの、参加エントリーはしていた。 コロナの様子を見ながら、イベントなどを行ってきた。中止せざるを得ないことも多々あり、残念に思う。台風の時は、避難所としての開放をしたが、誰も訪れる人はいなかった。 外部・内部研修ともに参加出来ている。ヒヤリハットは出しているが検討が不足している。 	<p>特に意見はないが、記入していただいた方の8割が出来ている、の回答をいただいている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の面談時に使用しているフェイスシートやアセスメントシートの項目の見直し。不足している項目があれば追加。情報共有の方法の見直し。→ ホワイトボードの活用の仕方、情報共有の意識を持つ方法、利用者個々人の必要な支援に対する勉強会を行うことで利用者に対する理解を深める。 できないことを補う目標も大切だが、その人の強みを生かす目標を実践することが生きがいにつながる。→ スタッフ全員参加で強みを考える実現目標を実践する。ライフサポートプランの長期目標+α →これが実現できたら次はこれ、と常に次へつながる目標を考える。 「10個以上」=その人の人生の延長線。利用者様ひとりひとりの生活歴シートを作成。「以前のこと」と「現在のこと」を聞き、半年に一回更新する。 民生委員にあいさつにまわり、個人情報に触れない範囲で情報共有していく。施設での対応が難しい場合にお願ひできるような関係づくりをしていく。サポートマップを再

				<p>度見直し、個人ファイルに綴るのではなく、サポートマップ専用のファイルを作り、定期的に更新・見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用できる地域資源やボランティアを調べたり探るなど、支援に必要な地域資源をより多く活用する。ミーティングの開催を定着させて記録にも詳細に確実に残すことで、抜けなく過去の情報もさかのぼれるようにする。 ・今後もいきいきサロン、民生委員とのかかわりを継続していく。 ・職員会議でヒヤリハットを PDCA に繋げていく。そのためには、考えた対策に対することを評価し、分析と振り返りを重視していく。 <p>新規の方などのフェイスシート等の情報はプライバシーに注意しながら、職員間で情報共有できるようにする。</p>
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の厳しい現状は続いており、ひきつづき職員・利用者の健康観察や消毒を徹底し、感染拡大の防止に努める。 ・インターホンその他のコール関係に不備がないよう、早めの電池交換や点検を徹底する。 ・毎月の事業所内巡視を徹底し、早期発見、早期解決に導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員、利用者様は、毎日健康観察を行っている。しかしながら、コロナウィルス感染の問題は消えなく、サービス提供に支障が出るがあった。感染対策としては、十分に喚起を行っている。 ・自動ドアの問題に関しては、修理で直っている。インターホンについても、電池が切れる頃を予測して、早めに（4ヶ月ごと）交換するようにしている。 ・最低でも、月1回の巡視を行い、課題となるところはないか、確認している。 ・冬場は花壇が枯れてしまうので、代わりになることを考えていき 	<p>透明パーテーションの活用や消毒液（自動で出るもの）においてあり、対策は十分。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の玄関まわりに花壇があるなど、親しみやすい雰囲気を感じる。 ・事業所内部は写真で見える限り、居心地の良い空間になっているように思う。外部の景観も問題なく、入りやすい環境となっている。 ・不快な音まではいかないが、廊下天井のエアコンの異音が大きめだったため、寝ている人で気になる人がいるかもしれないと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンなど、電気機器の異音がないか、常に意識し、問題があれば迅速に改善するよう努める。 ・利用される方にとって、心地よい環境を追求し、実施していく。 ・季節に応じて、花壇等が潤うよう考えていく。 ・今後も感染拡大防止に努め、換気等を徹底する。

		<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突っ張り棒を付けて、耐震に備えた。給湯器が故障したときにパーツが入らなくて、なかなか手こずった。 		
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が一人でも興味を持って参加してもらえるよう、また、地域住民のためになるようないきいきサロンの内容を考慮し、提供していく。 ・地域の中で、聖徳園の認知度があげられるよう、広報活動等を行い、事業所の取り組みを地域に発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンについては、今年度は、コロナの影響をもろに受けた形。なるべくなら開催したいとギリギリまで考慮したが、しかし、最近では開催ができるようになった。 ・地域からの困りごとに対しての相談、対策を打つことがあった（ゴミの件など）。また、区長さんや民生委員さんとも適宜連携。夏祭りや運動会など、地域の行事には、参加の予定をしていたが、残念ながら、直前でコロナウィルスの蔓延にて参加中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のスタッフは地域との交流や協働には積極的に考えているが、このご時世、コロナ禍でイベント自体がない。 ・いきいきサロンのチラシ配布など、周知活動に積極的に取り組んでいると思う。職員は全員、積極的に挨拶をしてくれる。 ・コロナ禍で感染に配慮しながら、出来る限りのことをされていると思う（サロンなど）。 ・運営推進会議での具体的な事例の内容を聞くと、利用者一人一人の問題点を把握し、ご近所の方ともお互いに協力しながらしているケースもよくあるので、地域の方にも事業所の存在はしっかり伝わっているように感じる。 ・車に事業所名が入っていないのはなぜか。（こちらに関しては、ご近所や地域の人に知られるのを嫌がる人がいて、事業所名が入っていないことだけでなく、服装もそれっぽくみられないようにしていると回答している。） ・職員がみんな生き生きと働いていた。挨拶も笑顔も良い。 ・本人への支援だけでなく、地域の関係者を巻き込んで支援している。本人を見守る目が増えていいと思う。 ・区長や民生委員との関わり、情報共有に取り組んでいるのが良いと思う。 ・利用者一人一人の人となりを使 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が地域の中でイベントなどに参加できるよう支援していく。 ・いきいきサロンや広報活動を継続しながら、聖徳園の認知度があげられるよう周知し、ご利用者のみならず、ご近所等の方が気軽に訪ねてこられるようにしていく。

			握する努力をされていて、それが地域の方との連携にしっかりつながっていると思う。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性もあり、今後も独居老人は増えていくものと思われる。把握できる地域の独居老人が一人でも多く把握できるよう継続し、困難な方に対しては、包括、区長、民生委員、行政等と連携して安心して暮らしていけるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンに参加しない人への訪問、拒否をされても諦めずに訪問し、見守り等を行っている。また、区長や民生委員、あわら地域包括やあわら市社協とも連携を図っていくことを続けている。 ・利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は不審な点があればあわら地域包括に相談したりしている。事業所のご利用者は、コロナが緩い時には、春は花見、秋は紅葉を見にドライブと、外に出る行事も行えた。 ・交友関係を把握し、努力していただけのところは協力していただくためにも、暮らしのサポートマップを作成しているが、十分ではないところもあり、完成させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるが、地域に出て関わりたいと思っている様子があった。 ・支援が困難な方に対しても、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、関係者と連携しながら、工夫して支援していると思う。 ・コロナ禍で難しい中、出来る限り利用者一人一人の希望を聞き、対応出来ていると思う。 ・本人の普段の暮らしや交友関係、地域での立ち位置など、全てを把握するのは難しいと思うが、出来るだけ状況を把握し、より良い支援の提供に努めていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅で過ごすご利用者一人一人が取り巻く地域資源との関係の形成のため、暮らしのサポートマップの見直し・作成、必要に応じて包括、区長、民生委員、行政、交友関係等とも連携を構築し、安心して暮らしていけるようにしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が会議の場に参加することは難しい問題であるが、事前に意見聴取するなどし、会議で家族の思いを伝える。 ・地域の課題について、行政からの意見や、行政へ働きかけ、利用者や地域で暮らす人々がより暮らしやすくなれるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の前に事前に意見はなかなか難しいが、普段の家族とのかかわりから、十分、思いは伝えられていると思う。1月の外部サービス評価では、3家族の方が参加してくださった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議でスライドを使って、写真掲載付きでの説明があったので、とても分かりやすかった。 ・適切に事例検討が行われていると感じる。個別の事例から、地域の問題点が浮かびあがってくることもあるので、良いと思う。 ・運営推進会議であげてもらったケースはいつも困難なケースが多いが、すごく丁寧に対応していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の困難なケースに対して、問題点を明確にし、一つでも解決に向かえるよう検討していく。 ・ご利用者や地域で暮らす人々が暮らしやすくなれるように、地域での課題や地域で取り組みたいことをアピールする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症問題やその他の重大な災害が発生しても、極力、サービス提供が滞らないようにマニュアルを作成する。 ・避難訓練や防災訓練等を継続しながら、避難所の開放など、聖徳園として地域に貢献できることを続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風などの災害を事前に予測し、利用者または近所の方への避難解放など、早期対応した。災害や火災の訓練は、利用者の状況に合わせた訓練や、夜間想定等の訓練を定期的実施している。 ・事業所の防災訓練・災害対策等に関しては十分に出来ているが、地域との共同した訓練は、令和4年度は行なえなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の時等、利用者だけでなく、近隣の住民にも避難場所として、対応できる体制がとれている。それが近隣住民もわかっている（周知されている）ことが良い点だと思う。 ・コロナ感染症が発生したときにも、防護服着用で訪問対応をしてくれたので、独居の方は心強かったと思う。 ・事業所を避難所として開放するなど、地域貢献が出来ていると思う。 ・以前の災害の際、地域の方を受け入れ、すごくありがたかったとの意見を聞いた。それだけ地域の方にとって、災害時にも頼りのある事業所となっているのだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP（災害時の業務継続計画）マニュアルに関しては、今後、感染を交えてのマニュアルを作成していく。 ・実際の災害時を想定した訓練の継続はもちろん、事前の災害予測から、ご利用者や近隣住民が聖徳園に避難できるような体制を継続していく。
----------------------------	--	--	---	---